

2017年9月12日

東急不動産ホールディングス株式会社

## 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス」 構成銘柄に連続選定されました

東急不動産ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)はこのたび、社会的責任投資(SRI)※の株価指標として世界的に認知度の高い「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス(DJSI Asia Pacific)」の構成銘柄に選定されました。

DJSIは、米国のダウ・ジョーンズ(Dow Jones)社と、スイスのSRIに関する調査専門会社であるRobeco SAM社が共同開発した株価指標で、経済・環境・社会の3つの側面から世界各国の大手企業の持続可能性(サステナビリティ)を評価し、総合的に優れた企業を選定するものです。

今回のDJSI Asia Pacificでは、日本を始めオーストラリア、香港、韓国、シンガポールなどアジア・太平洋地域の主要企業614社を対象に調査が行なわれ、152社(うち不動産セクターの日本企業は当社を含む3社)が選定されました。

当社は、東急不動産株式会社として2012年・2013年にDJSI Asia Pacificに選定され、2013年10月の東急不動産ホールディングス株式会社設立後は2014年から4年連続で選定されており、今回で通算6年連続の選定となりました。

近年、ESG投資が活性化する中で当社が連続選定されたことは、当社の経営課題への取組みに対して、将来にわたり持続的成長が期待できる企業として評価された結果と捉えています。また、当社グループは「中長期経営計画2017-2020」においても、ESGマネジメントの推進を掲げており、今後も持続的成長と長期的企業価値向上に取り組んでまいります。

MEMBER OF  
**Dow Jones**  
**Sustainability Indices**  
In Collaboration with RobecoSAM 

東急不動産ホールディングスのCSRについて

<http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/csr/>

統合報告書について

<http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/library/integratedreport/>

※SRI(Socially Responsible Investment)とは、個人や機関投資家が投資を行う際に、従来の財務分析による情報に加え、ESG(環境、社会、企業統治)評価を投資基準に加えて行う投資手法のこと。